

「すき間を埋める」子育てサポートプラン

**「地域こども食堂」で
ひとづくり・まちづくり**


自民党新潟県連青年部局
「政策プレゼンコンテスト」
新潟大会

発表者 近藤由香里

子どもの食をめぐる問題
～子育て支援のすき間～

家族形態の変化(核家族化、ひとり親など)
→食文化の継承が困難、世帯の所得が生活習慣に影響

- 「いただきます」「ごちそうさまでした」の習慣、正しい箸の持ち方、マナー等
- 家族一緒に食事をとる機会が少ない→孤食化が進行
- 家庭で食事をつくらない→インスタント食品、調理済み製品(中食)、外食の増加
- 朝食の欠食→集中力低下で学業に影響
- 食事内容の偏り、栄養の過不足
- 食物アレルギー
- 小児肥満、思春期やせ、生活習慣病、摂食障害




貧困問題による食の問題も・・・
2014年、厚生労働省が発表した「子どもの相対的貧困率」は過去最悪の16.3%
→6人に1人の子どもが「貧困」

- 経済的事情から1日3食の食事をまともに取りれない、空腹で眠れない→貧食

食育の推進 ～家庭から学校、地域へ～

食育とは(食育基本法 H.17～より)

- ① 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- ② 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること



食育の基本方針(新潟県第2次食育推進基本計画 H.26～より)

家庭を支える地域における食育の推進

家庭における「食」についての知識や経験、また、食文化を継承していく力が弱くなってきていることから、学校給食の活用や地域のボランティア団体等による活動を通して、地域全体で食育を推進。また、共食の実践は、社会全体での取組が大切。

食や生活に関する基礎の習得


1食分の調理ができる、栄養バランスのよい食事を選択できるなど、食や生活に関する基礎の習得を促す取組を、家庭、学校、地域等あらゆる場を活用して実践し、自立した食生活を送ることができる県民を育てていく。

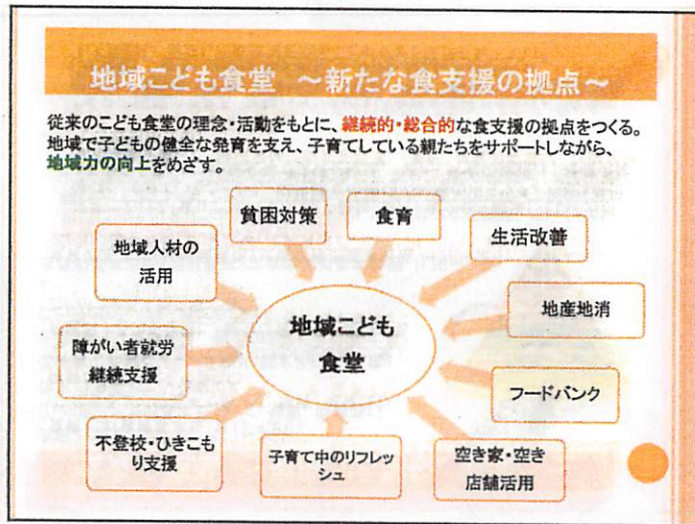
広がる「こども食堂」
～草の根 食支援活動～

<理念>
食の問題(特に貧困問題)を抱える子ども達に、おいしい食事と家庭的な居場所を提供し、食事の楽しさを知ってもらう。
子どもの健全育成を地域住民で支える。

<活動>
月2回程度、無料～300円程度で子ども(および親)に夕食を提供する。
主催はNPOが中心。食材や調理器具等の寄付を受けながら活動。(子ども支援活動の一環としてイベント的に行うケースも)

<実例>
粟町あさやけ子ども食堂(豊島区)
ねりまこども食堂(緑馬区)
ダイコンこども食堂(緑馬区)
はちおうじこども食堂(八王子)、
こども食堂だんだん(大田区)など
その他、いしがたこども食堂(新潟市)をはじめ、全国で開設予定多数。(＊経済的な理由で開設が遅れているケースも・・・)





従来の「こども食堂」との比較

	こども食堂(従来)	地域こども食堂
活動内容	夕食の提供(月2回)	(週2回程度)おやつ、夕食の提供 (週1回程度)朝食の提供 (月1回)料理教室、農業体験、釣り体験、山菜採りなど (不定期)ダイエット相談、小児成人病予防講座など
場所	公的施設、児童クラブ、有志の自宅など	公的施設、地域の集会所 空き家・空き店舗の活用も検討
食材	地元野菜中心(寄付も含む)	野菜⇒地元農家、フードバンクと連携 おやつ(お菓子、パン)⇒障がい者就労継続支援施設と連携*販売スペース設ける
参加費	無料～300円程度	朝食200円 夕食300円 おやつ150～200円 その他は別途
方式	完全自由参加or登録制	事前申し込み&当日参加可
対象	小学生～高校生 大人(保護者)	乳幼児～高校生(未就学児は保護者同伴) 大人(保護者)

具体的な活動(例) *地域特性を加味

頻度	活動	内容	備考	参加費	申込
週1回	朝ごはん食堂 7:00～8:00	ごはん・汁(漬物)	地元産食材	200円	予約
週2回	夕ごはん食堂 17:30～20:30	一汁三菜 郷土料理、惣菜中心	地元産食材 フードバンク	300円	予約 当日可
週2回	おやつカフェ 15:00～17:30	お菓子 パンなど	障がい者就労継続支援施設	150～ 200円	当日可
月1回	食育イベント	料理教室 四季の行事 農業、釣り、山菜採り 災害時の食事 郷土料理 など	地域サポーターの協力	500円程度	予約 当日可
不定期	栄養相談など	正しいダイエット 小児成人病予防 食事の選び方等	保健所等の事業	500円程度	予約

地域人材の活用

専従スタッフ(雇用)+地域サポーター(ボランティアとして登録)

<活動内容>

- 食事づくり
- お菓子づくり
- レシピ・献立作成
- 勉強、遊び
- 農作業
- 釣り体験
- 山菜・きのこ採り
- 災害食
- 栄養相談 など

<地域サポーター>

- シルバー世代
- 子育て世代
- 学生・子育て未満世代
- 不登校 ひきこもり
- 障がい者
- 食料生産者
- 地栄協(地域の栄養士)
- 食生活改善推進委員
- 民生委員 など

<外部との連携>

- 地域の飲食店に「一日こども食堂」を委託
- 高校の調理実習、調理師・栄養士養成校の給食実習の場として利用
- 保健所の食育事業の場として活用
- 障がい者の就労継続支援事業と連携(お菓子、パンなど)
- フードバンクと連携 など

